

水と油と高分子のスペシャリストとして社会の発展に貢献する

第3四半期業績の概要

(平成25年3月1日～平成25年11月30日)

株式会社**MORESCO**

MORESCO Corporation

<http://www.moresco.co.jp/>

東証一部 5018 (石油・石炭製品)

2014年1月

株式会社MORESCO

MORESCO Corporation

神戸市中央区港島南町5丁目5番3号

設立	1958年10月（昭和33年）
代表者	代表取締役会長 中野正徳 代表取締役社長 赤田民生
従業員数	282人[単体]、565人[連結] （2013年8月末日）
資本金	2,091百万円
事業内容	特殊潤滑油、素材、ホットメルト接着剤などの 化学品の開発・製造・販売
売上高	19,987百万円（2013年2月期：連結）
経常利益	1,169百万円（2013年2月期：連結）

MORESCOグループの国内外拠点



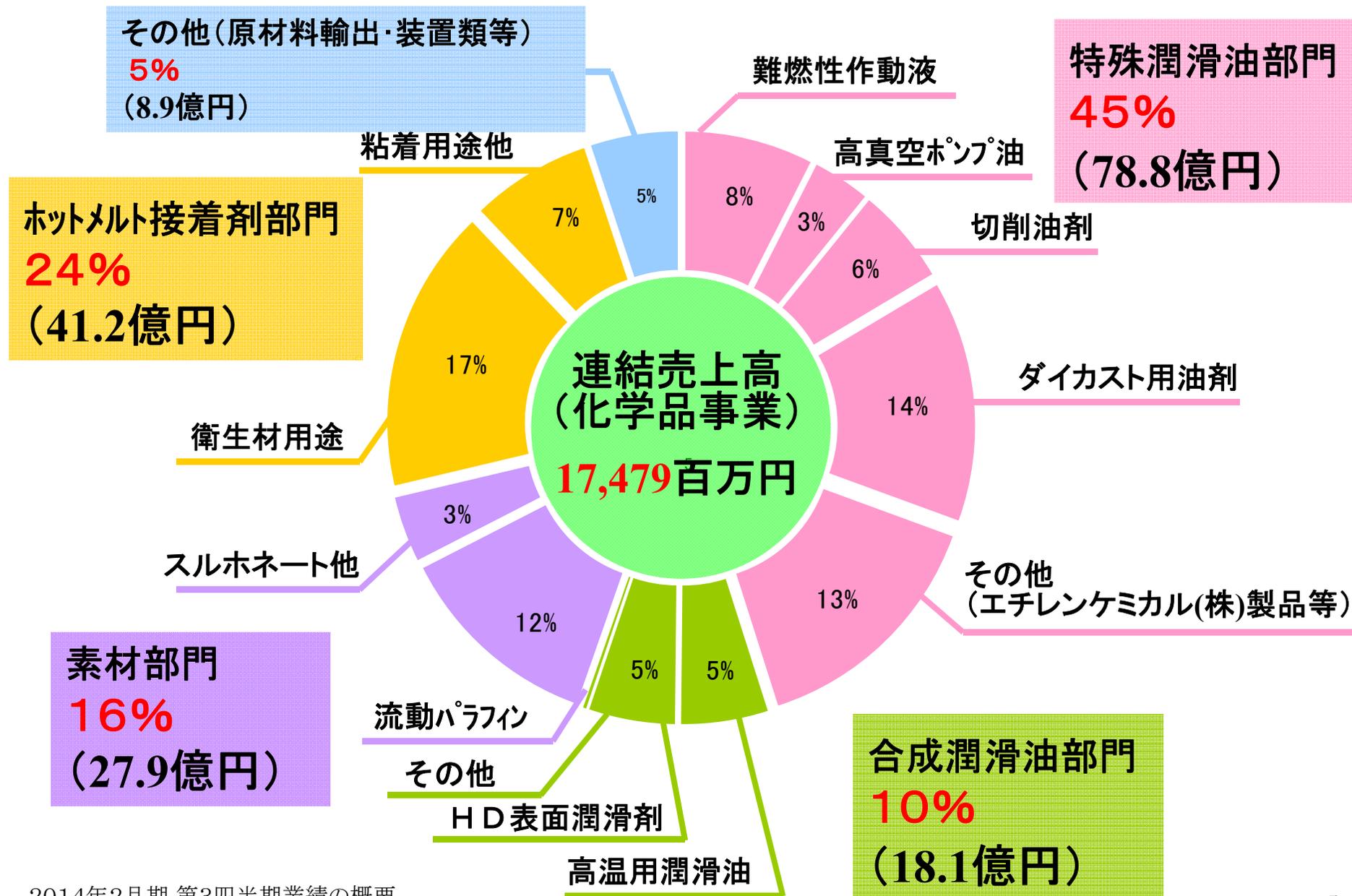
事業内容

MORESCO

売上比率(13年2月期)

化学品 事業	特殊潤滑油部門	自動車、鉄鋼産業等向けの 特殊潤滑油	45%
	合成潤滑油部門	自動車用高温グリース原料、 ハードディスク表面潤滑剤	9%
	素材部門	化粧品・ポリスチレンの原料油、 LiB膜生産用、他	17%
	ホットメルト接着剤部門	紙おむつ等の衛生材、ラベ ル・自動車向け等の接着剤	23%
関連 事業	廃水処理装置・処理薬剤、水処理関連機器、 UF/RO膜式廃水処理装置の販売(株)マツケン)		6%
	油系・水系分析・評価試験、関連機器の開発、 製造、販売 (株)モレスコテクノ)		
賃貸ビル事業	モレスコ本町ビル(大阪府中央区備後町)		0.3%

化学品事業の売上高構成 (第3四半期)

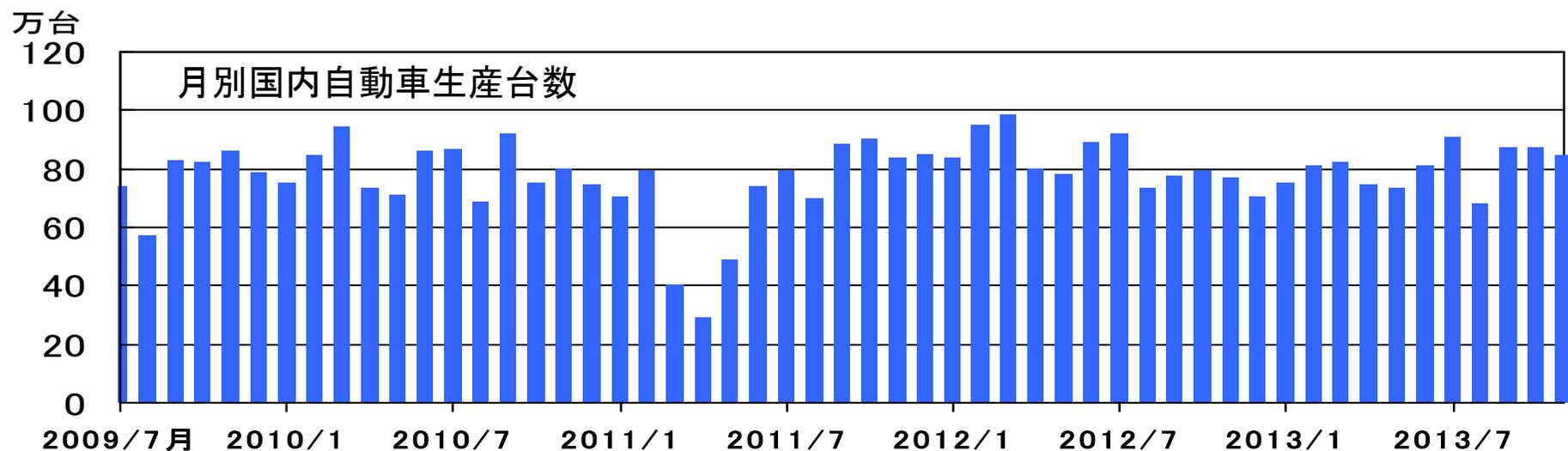
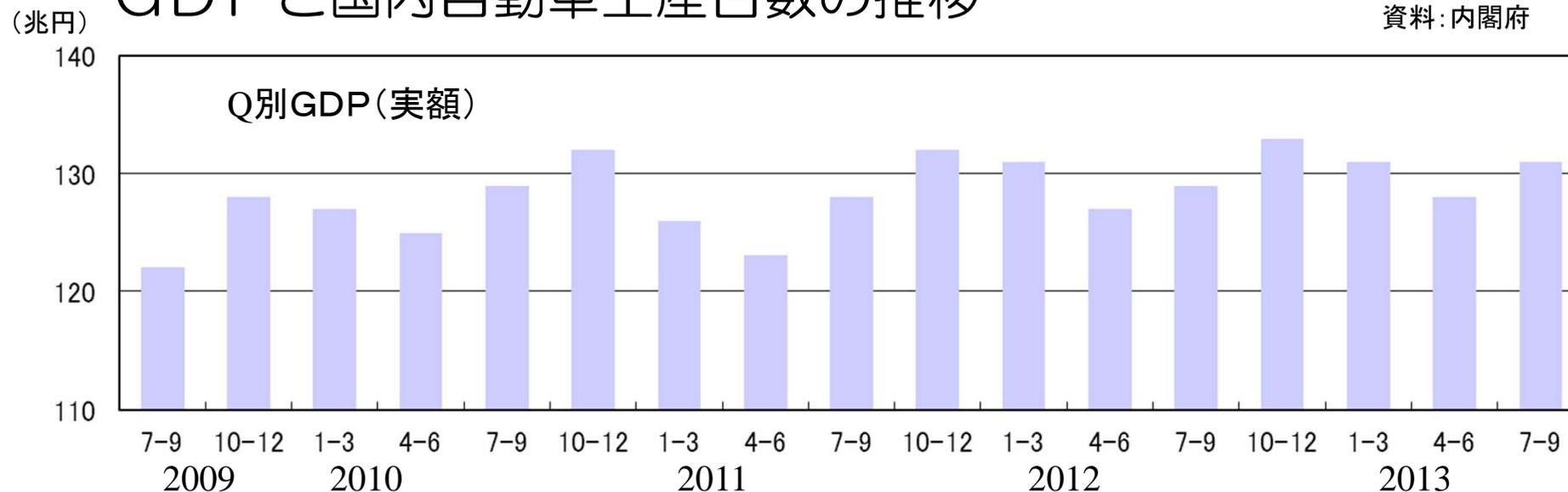


当期の経営環境(1)



GDPと国内自動車生産台数の推移

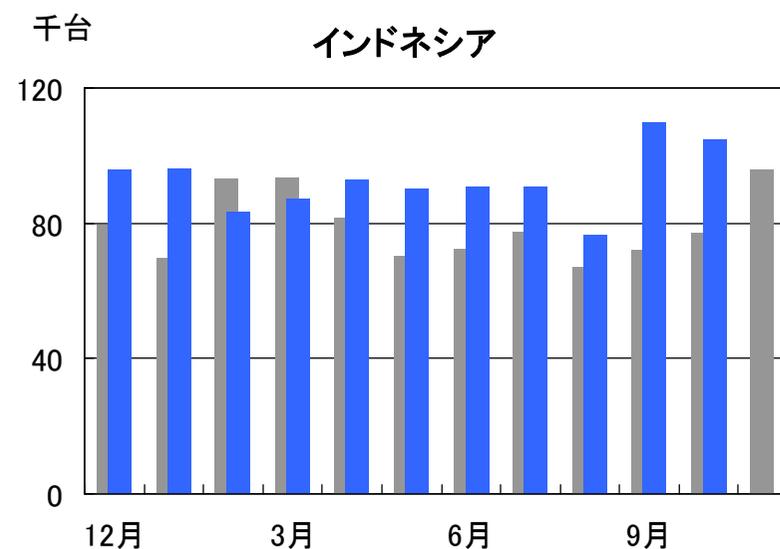
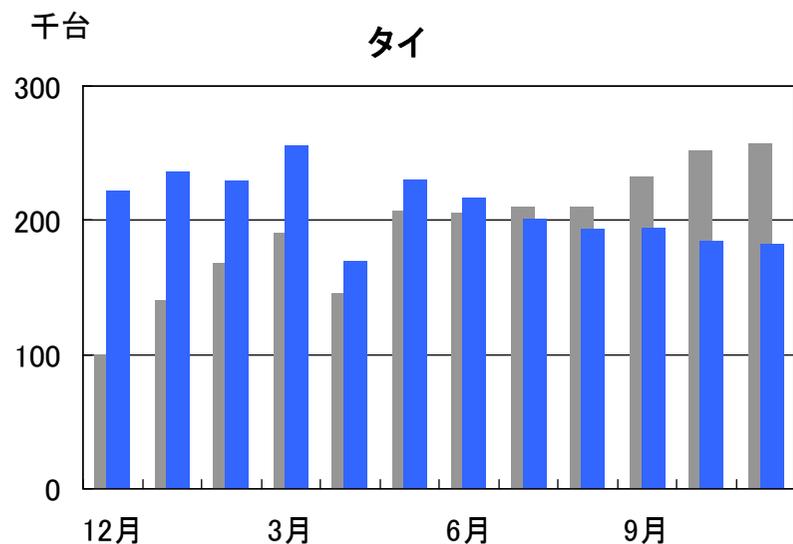
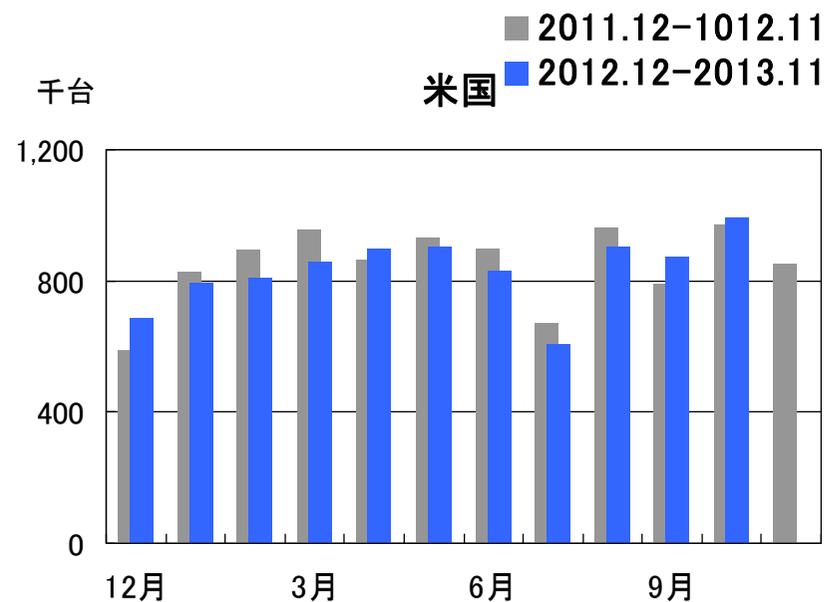
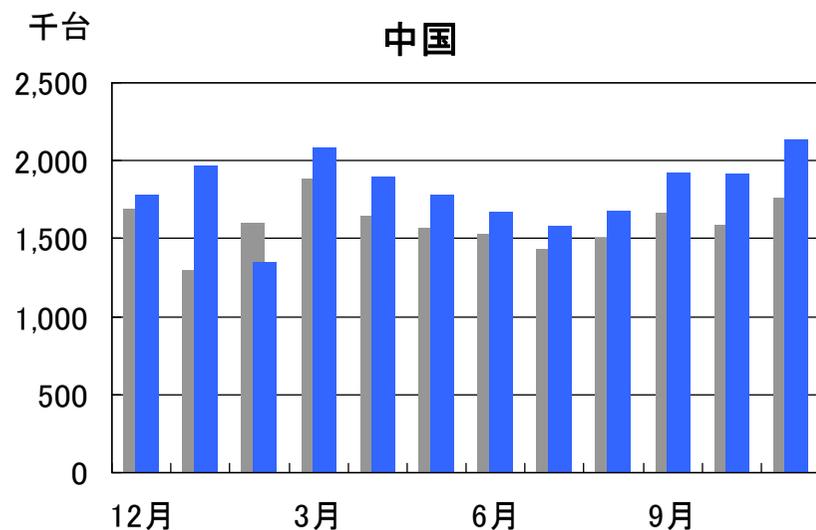
資料:内閣府



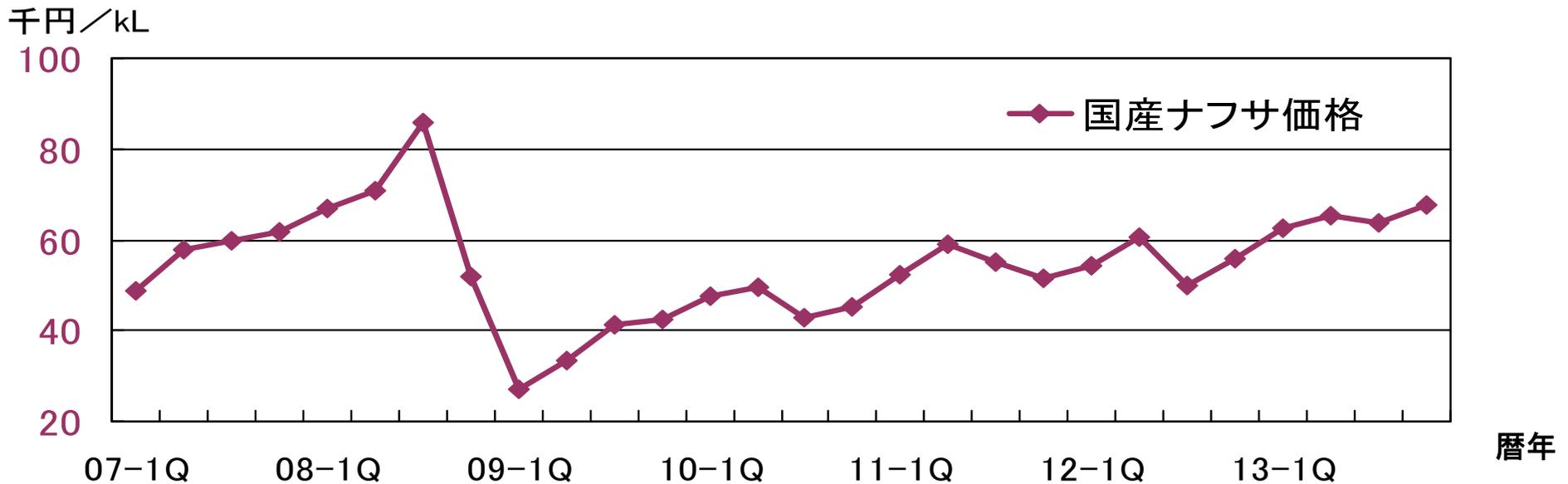
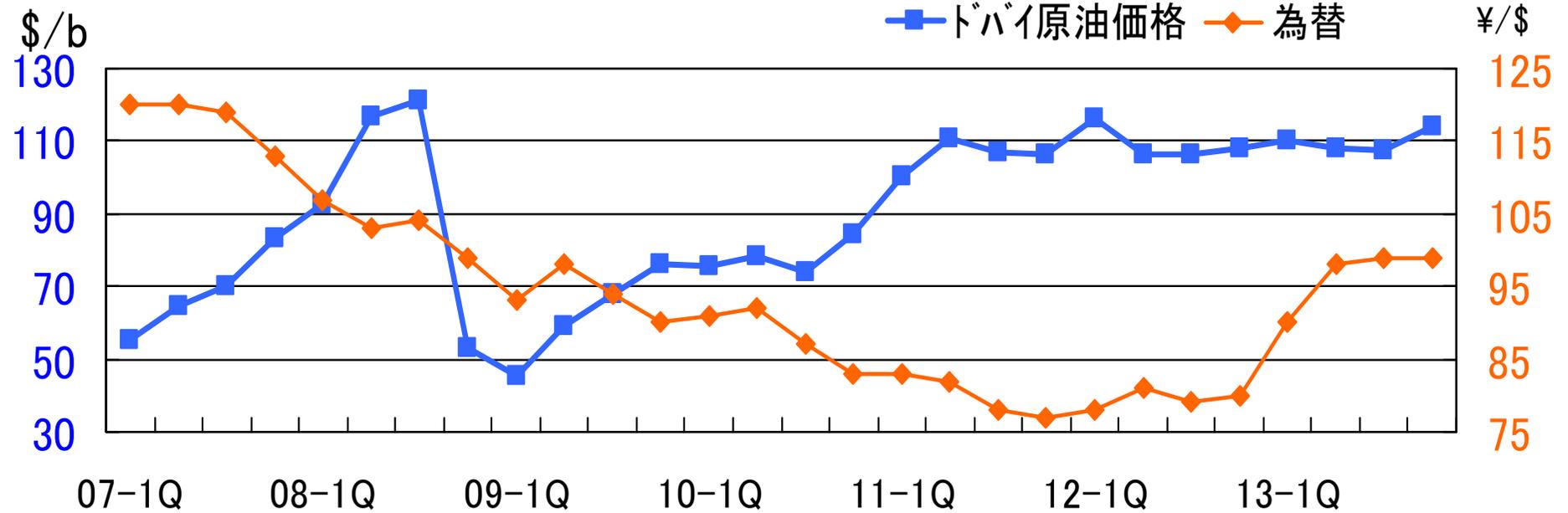
当期の経営環境(2)



海外自動車生産台数の推移



当期の経営環境(3)



2014年2月期 第3四半期業績の概要

暦年

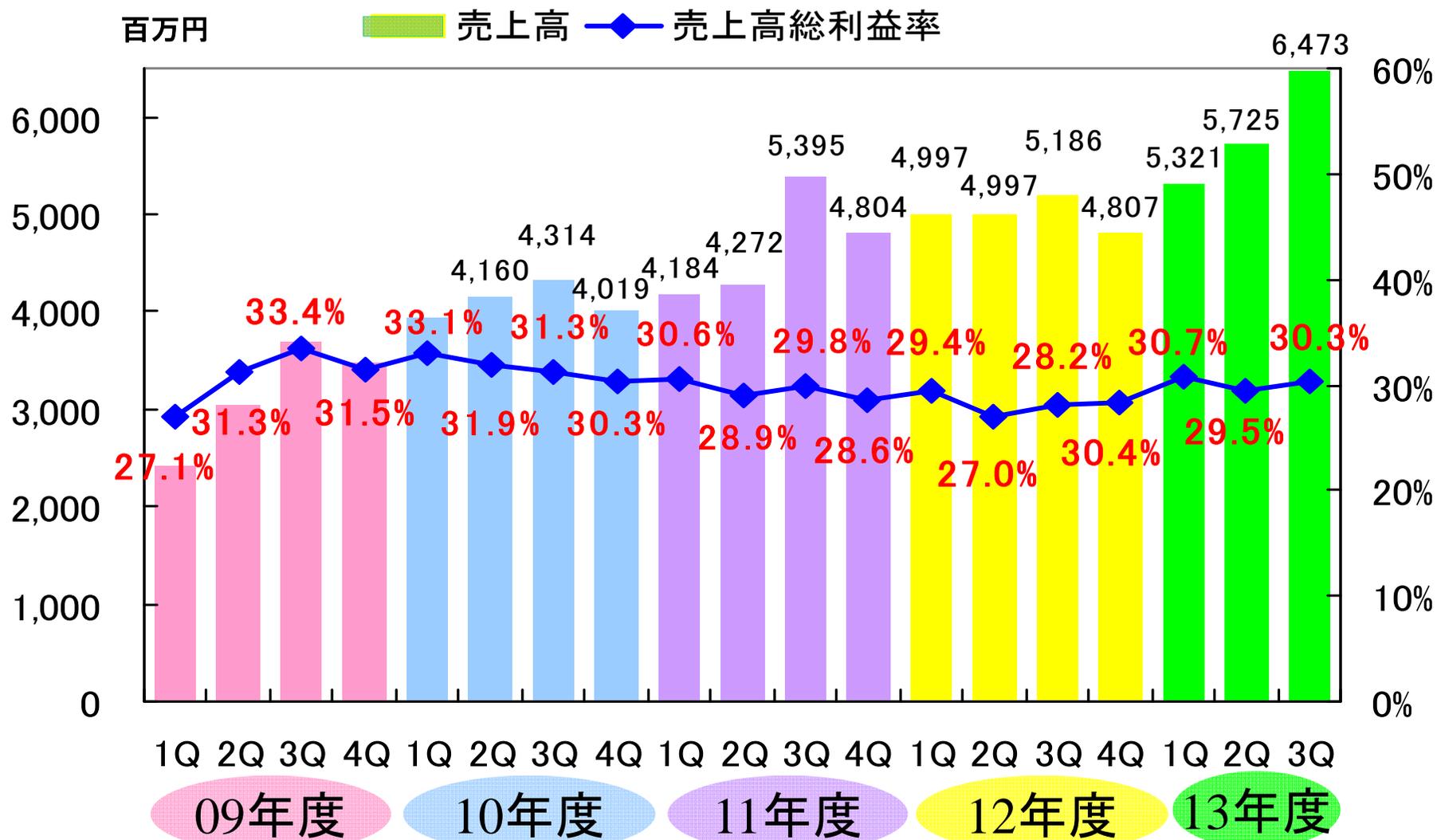
決算概要 連結損益計算書



単位:百万円

科目	11年3Q 累計	12年3Q 累計	13年3Q 累計	前年 同期比
売上高	13,851	15,180	17,519	+15%
売上総利益	4,119	4,281	5,284	+23%
販管費	3,181	3,531	3,959	+12%
営業利益	938	750	1,325	+77%
営業外損益	74	113	105	△7%
経常利益	1,012	863	1,430	+66%
税引前利益	1,011	870	1,430	+64%
四半期純利益	598	511	886	+73%

売上高,総利益率の推移



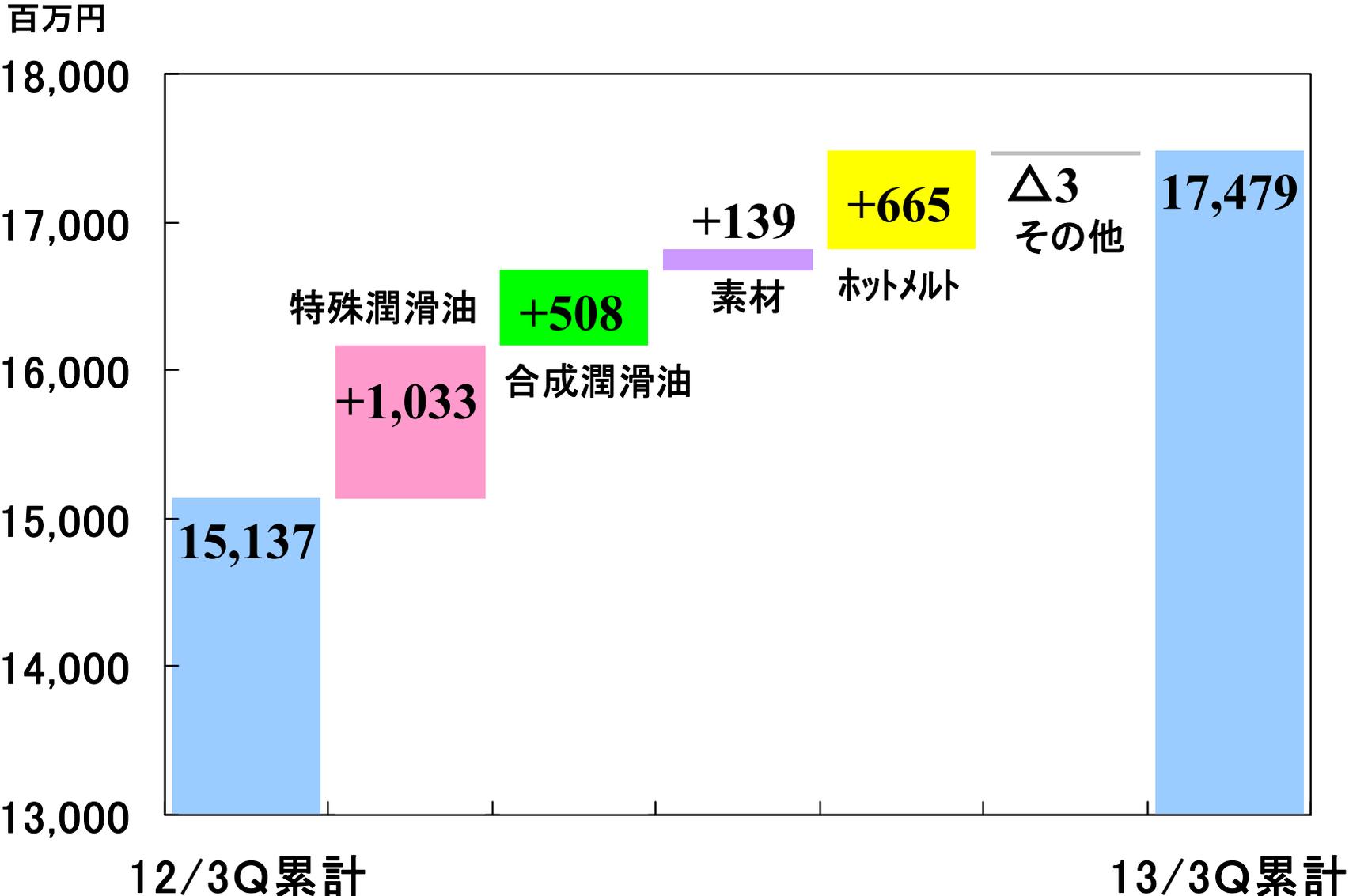
部門別売上高の内訳



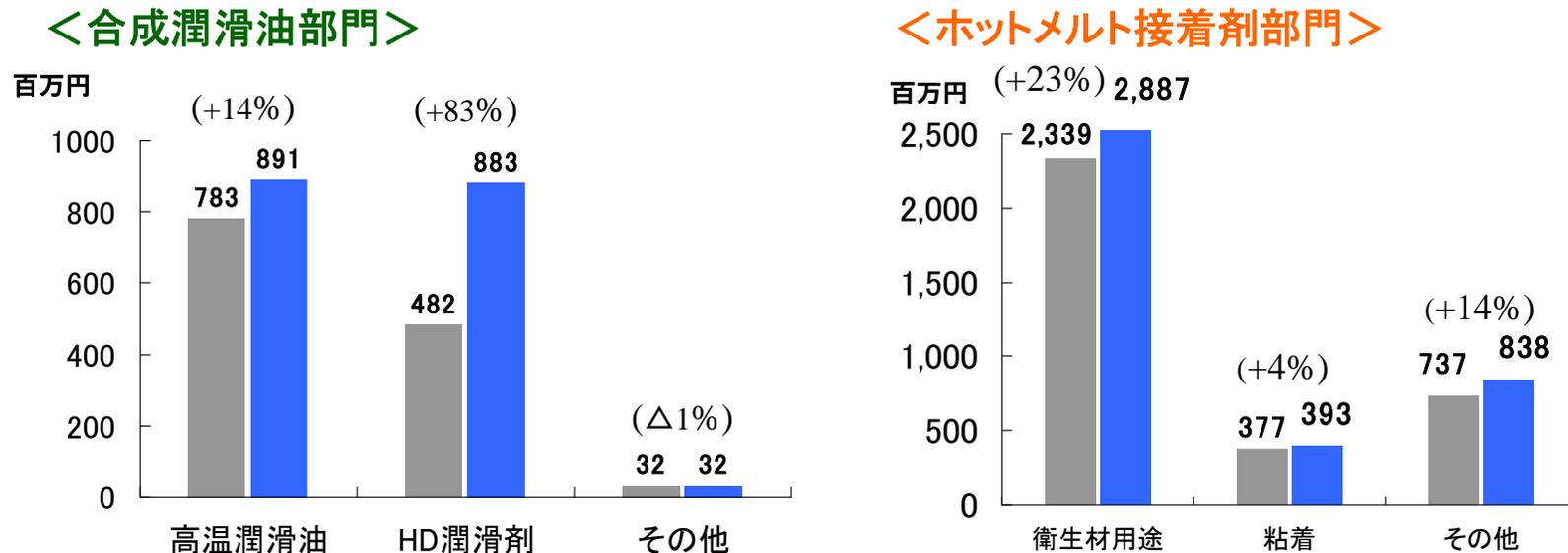
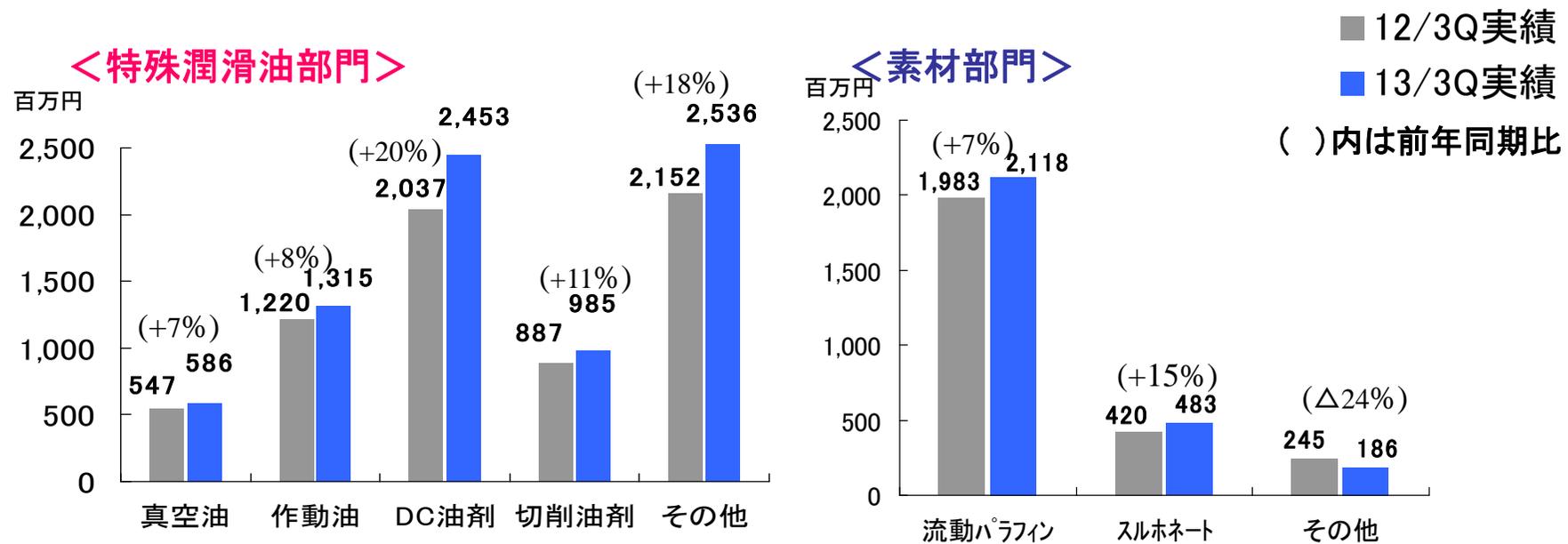
単位：百万円

	12/3Q累計	13/3Q累計	前年比
特殊潤滑油部門	6,842	7,875	+15%
合成潤滑油部門	1,297	1,806	+39%
（うち、HD潤滑剤）	（482）	（883）	（+83%）
素材部門	2,648	2,787	+5%
ホットメルト接着剤部門	3,453	4,119	+19%
その他	895	893	0%
化学品事業計	15,137	17,479	+16%
ビル事業	43	40	△6%
売上高合計	15,180	17,519	+15%

部門別売上高の増減



3Q部門別・製品群別売上高(累計)



3Q部門別売上の概況



	前年同期比	
特殊潤滑油部門 (高真空ポンプ油) (難燃性作動液) (切削油剤) (ダイカスト油剤) (冷熱媒体他)	+15%	<ul style="list-style-type: none"> 中国、東南アジアを中心にダイカスト用油剤や難燃性作動液等の売上高が増加 国内は自動車生産台数の伸び悩みにより、難燃性作動液、切削油剤の売上高が伸び悩むが、日華化学から譲り受けたダイカスト用油剤、熱間鍛造潤滑剤が寄与し、前年同期を上回る
合成潤滑油部門 (高温用合成潤滑油) (ハードディスク表面潤滑剤)	+39%	<ul style="list-style-type: none"> 高温用潤滑油のグリース基油は、中国を中心とする自動車生産の拡大により、堅調に推移 ハードディスク表面潤滑剤は、高性能新製品の採用が進み過去最高の売上高を継続
素材部門 (流動パラフィン) (スルホネート)	+5%	<ul style="list-style-type: none"> 流動パラフィンはポリスチレン向けが需要の復調と新規ユーザー獲得により増加。リチウムイオン電池セパレータ生産向けも堅調に推移 スルホネートは金属加工油の添加剤向けが北米への輸出増により売上高が好調に推移
ホットメルト接着剤部門 (衛生材用途) (粘着用途) (その他用途)	+19%	<ul style="list-style-type: none"> 平成24年10月から生産を開始したインドネシアの子供用紙おむつ向けが順調に推移 大人用紙おむつなどの衛生材料向けは引き続き高水準を維持 粘着剤、その他用途も堅調

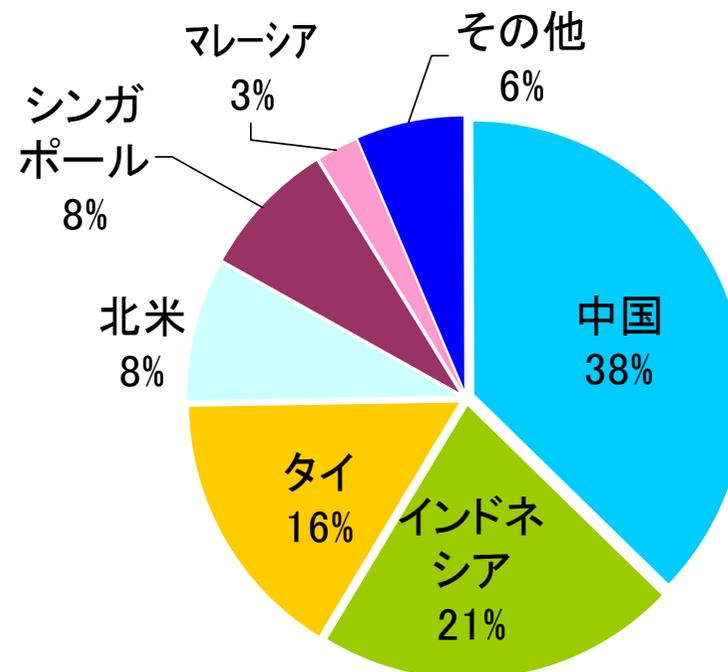
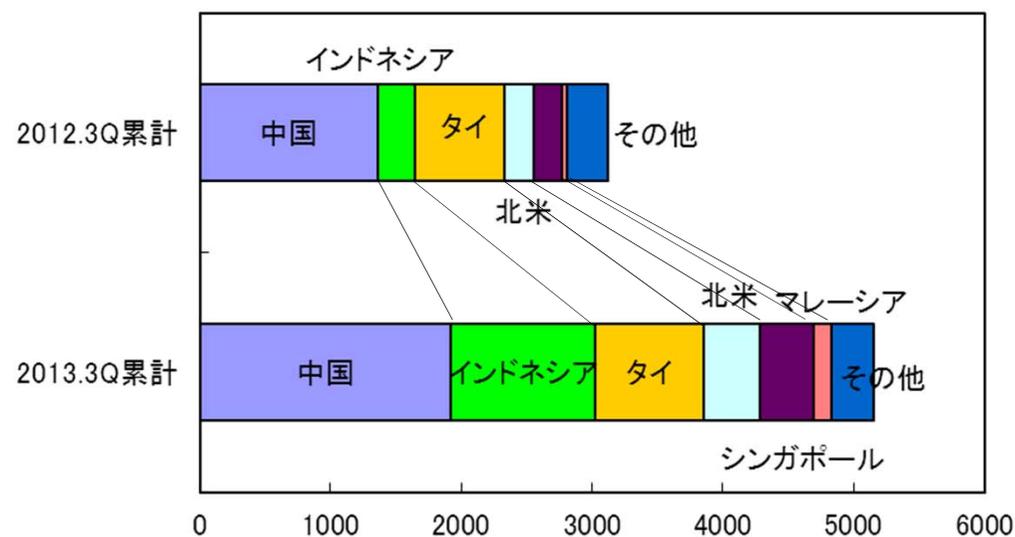
海外売上高

MORESCO

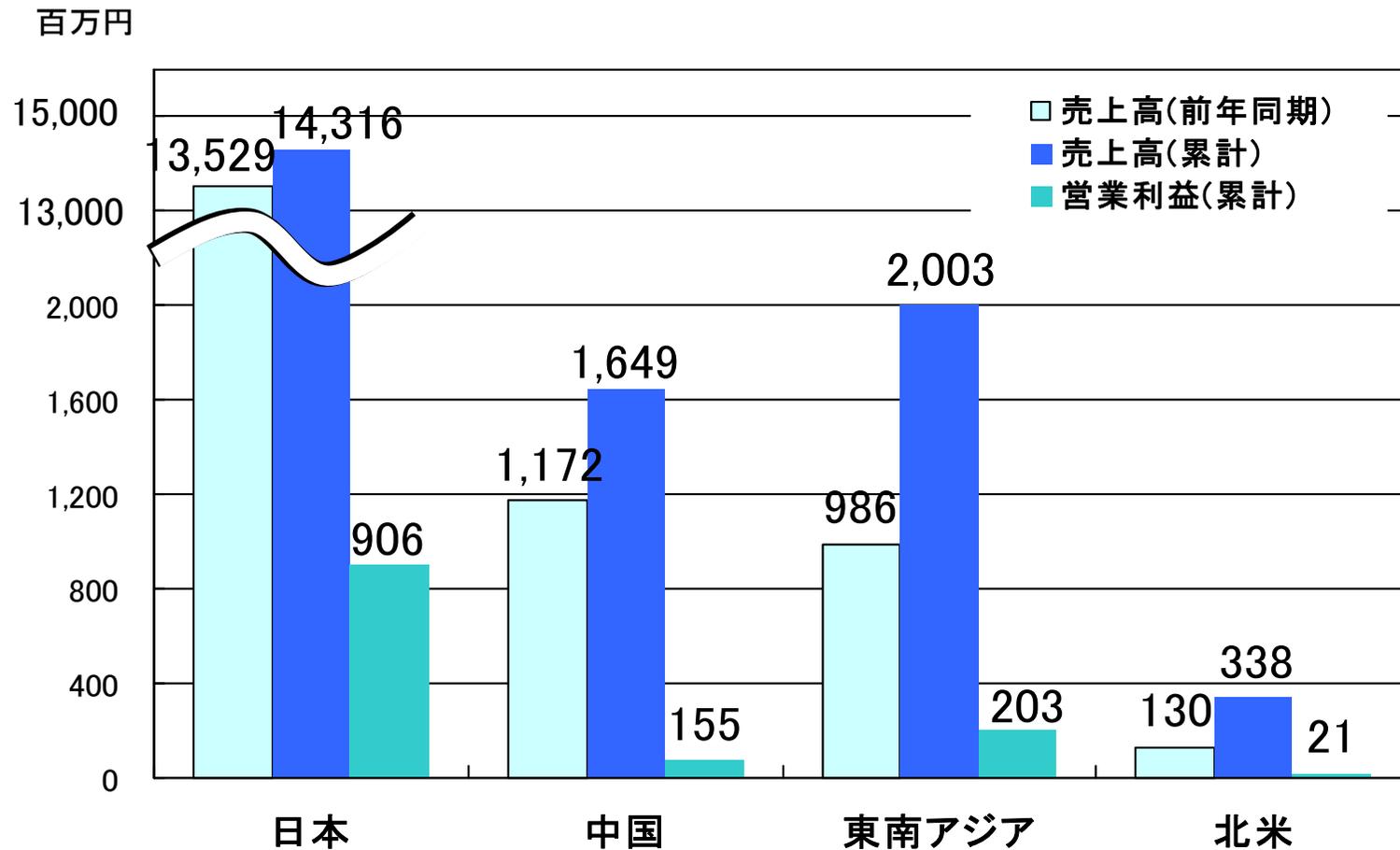
単位：百万円

	12/3Q累計	13/3Q累計	前年同期比
海外売上高	3,124	5,156	+65%
海外売上高比率	20.6%	29.4%	

13/3Q累計 国別売上高比率



報告セグメント別売上高・営業利益



	日本	中国	東南アジア	北米
セグメント利益率 (前年同期→当期)	4.7%→6.3%	7.7%→9.4%	1.1%→ 10.2%	△→6.2%

決算概要 連結損益計算書



単位:百万円

科目	11年3Q 累計	12年3Q 累計	13年3Q 累計	前年 同期比
売上高	13,851	15,180	17,519	+15%
売上総利益	4,119	4,281	5,284	+23%
販管費	3,181	3,531	3,959	+12%
営業利益	938	750	1,325	+77%
営業外損益	74	113	105	△7%
経常利益	1,012	863	1,430	+66%
税引前利益	1,011	870	1,430	+64%
四半期純利益	598	511	886	+73%

販売費・一般管理費

MORESCO

単位：百万円

	12/3Q	13/3Q	増減	前期比
販売費・一般管理費	3,531	3,959	+428	+12%
うち、研究開発費	730	769	+39	+5%
売上高販管費比率	23.3%	22.6%		

<経費の増加要因>

- ・日華化学(株)のれん償却費
- ・インドネシア現地法人の経費増
- ・人件費の増加
- ・為替換算レート差(円安要因)

主要連結対象個別各社の業績（累計）



	売上高(百万円)			経常利益(百万円)		
	12年 3Q	13年 3Q	前年 同期比	12年 3Q	13年 3Q	前年 同期比
MORESCO	11,418	12,194	+7%	660	969	+47%
マツケン	444	417	△6%	23	5	△79%
モレスコテクノ	173	192	+10%	14	24	+79%
エチレンケミカル	1,918	1,918	+0%	141	139	△1%
無錫松村貿易	654	944	+44%	50	97	+93%
莫莱斯柯花野(上海)	523	736	+31%	43	74	+74%
MORESCO(Thailand)	850	977	+15%	62	101	+63%
MORESCO INDONESIA	242	481	+99%	△40	32	—
MORESCO MACRO ADHESIVE	—	598	—	△15	+0	—
MORESCO USA	130	338	+160%	△15	23	—
無錫徳松科技	1,103	1,372	+24%	40	85	+114%

(注)海外グループ会社は12月期決算、エチレンケミカルは3月期決算

13年度 連結業績予想

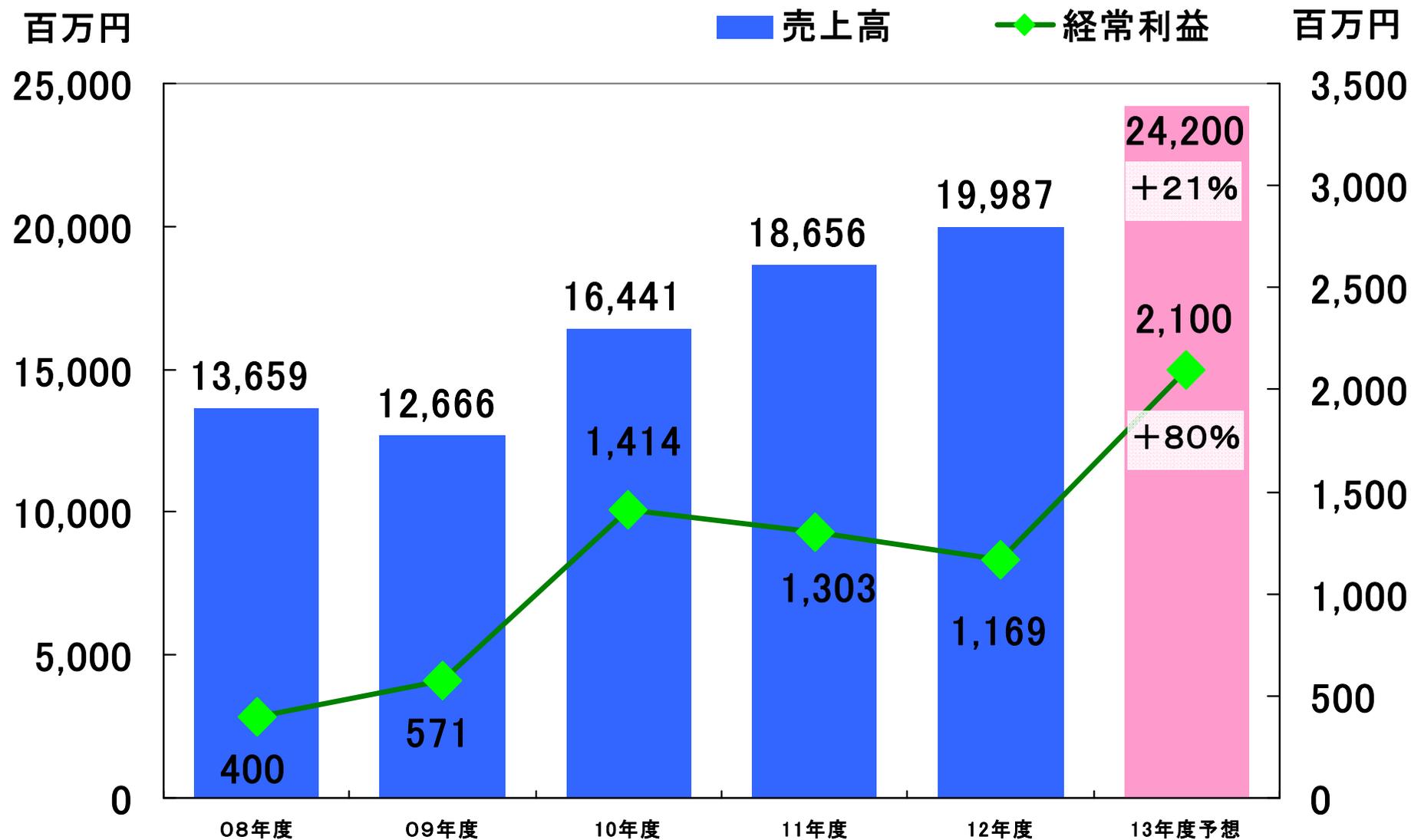


単位：百万円

	13年度 3Q実績	3Q 予想対比	13年度 通期予想
売上高	17,519	72%	24,200
営業利益	1,325	70%	1,900
経常利益	1,430	68%	2,100
当期純利益	886	74%	1,200

連結 売上高と経常利益の推移

MORESCO



(1) 日華化学(株)との業務提携

- 日華化学のダイカスト用油剤、熱間鍛造潤滑剤事業の譲受
 - ダイカスト離型剤主要原料の調達
 - 生産、物流の効率化等
 - ダイカスト用油剤国内シェア
- } **コスト削減**
約45%→約55%

(2) 中国・天津市に紙おむつ向けホットメルト接着剤の生産・販売拠点を新設予定

- 2014年1月、中国・天津市に天津莫莱斯柯科技有限公司（仮称）設立予定
- 紙おむつ用ホットメルト接着剤の生産・販売拠点

(3) 切削油事業の再構築を図るため機能材事業部から分離し、「金属加工油事業部」を新設する。

対処すべき課題

1. ダイカスト用油剤等では中国、タイ、インドネシア、USAで現地ニーズに対応した製品開発によるシェアアップを図る
2. 日華化学(株)譲り受け品（ダイカスト用油剤、熱間鍛造潤滑剤）のスムーズな業務移行
3. ホットメルト接着剤では、紙おむつ分野で中国へ進出。インドネシアでは事業拡大と共に近隣諸国への展開
4. 「環境関連」、「情報関連」、「エネルギーデバイス関連」での高付加価値新製品の開発
 - ・次世代型ハードディスク表面潤滑剤の開発
 - ・有機EL用封止材の開発など

本社・研究センター



この資料に掲載されている業績見通し、その他今後の予測・戦略等に関わる情報は、本資料の作成時点における当社の判断に基づくものであり、今後、予告なしに変更することがあります。本資料記載の業績見通しや目標数値のみに全面的に依存して、投資判断を下すことによるいかなる損失に対しても、当社は責任を負いません。なお、当資料を無断で複写複製、配布することを禁じます。

株式会社**MORESCO**

<http://www.moresco.co.jp/>
IR窓口 078-303-9058(広報室)